

## 平成 29 年度厚真町敬老会

皆様、こんにちは。町長の宮坂でございます。

今年も大勢の方に厚真町敬老会にご参加を賜り、心から厚くお礼を申し上げます。会場を埋め尽くすほどであります。今年も皆様方のお元気なお姿を拝見することができ、大変うれしく思いますし、人生の達人である皆様方のご長寿を心からお祝い申し上げます。

本日は、渡部町議会議長を始め大勢のご来賓の方々にご参加を賜り、敬老会に花を添えて頂いております。そして、民生委員やあゆみ会など多数のボランティアのご協力をいただき感謝申し上げます。改めて、ご参会の皆様にご日頃より町政の発展のために格別のご理解ご協力を賜り重ねてお礼申し上げます。

本日は、300 人近い皆さんに参加をいただきました。本町の敬老会には、数え年で 80 才以上の方をご招待していますが、該当者は、100 才以上の方 2 名を含む 721 名の方々に、そのうち、米寿をお迎えの方が 46 名、90 才以上の方が 132 名おられます。

本年は苫小牧外 6 ケ村から分離して戸長役場を設置して 121 年目となりますが、ご参列の皆さんは、厚真の歴史の重要な時期と人生が重なりますし、また、昭和 14 年に勃発した第 2 次世界大戦、戦中戦後の混乱、寝食を忘れて働いた復興期と激動の時代を乗り越え、本町の発展の礎を築いてくださいました。厚真町が誇る豊かな大地の恵みは、偏に、皆様の言葉には言い表せないご苦勞のお蔭であり、改めて感謝の誠を捧げるものであります。そのご恩に報いるためにも、時代を引き継ぐ私たちが、精一杯努力して参りますので、今後とも温かく見守って下さるようお願い申し上げます。

ところで皆様方も驚かれたと思いますが、先月の 8 月 29 日に北朝鮮が発射したミサイルが北海道上空を通過しました。北朝鮮の暴挙に皆様方は戦慄と憤りを覚えたのではないかと思います。何より平和の尊さ、戦争の悲惨さを体験してきた皆さんだからこそ、現在の北東アジアの緊張感に忸怩たる思いがあると思います。東洋の奇跡と呼ばれる復興は平和のうえに築かれたものであります。その平和は、次代を担う私たちの手で守っていかねばなりません。改めて、戦時の体験をお持ちの皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願いします。

さて、今年の 10 月 2 日には町民待望の厚幌ダムの湛水試験が始まります。関連事業の国営かんがい排水事業、道営ほ場整備事業、統合簡易水道事業、厚真川総合開発事業も順調に進捗しています。改めて、これら大型公共事業の施工にご理解ご協力いただいた関係者の皆様にご感謝申し上げます。特に、幌内地区の皆様には、地区構成に影響する開発となり、大変なご迷惑をおかけしました。お蔭をもちまして、全町域において水害のない安全で安心な生活が保障され、高品質で安定した食糧生産が可能となります。生活基盤と生産基盤が整い、新たなスタート・飛躍の条件が揃う平成 30 年代に向け、さらに農業者・農業関係機関の皆さんと一丸となって、技術革新・有利

販売戦略など強い農業・農村づくりに努力を傾注してまいります。

話は変わりますが、お元気な皆さんに敢えて一つのアドバイスをさせていただきます。余計なおせっかいだと思いますが、気に留めていただければ幸いです。それは、笑顔の大切さです。笑顔が免疫力を高めるという話を聞いたことがあると思いますが、本日はその理由と効果に触れさせていただき、日々の生活に是非役立てていただきたいと思います。免疫力を担う重要な細胞にNK細胞（ナチュラル・キラー細胞）とB型細胞がありますが、このNK細胞は人が笑うと2倍から6倍にまで増加します。このNK細胞は外から侵入してきた病原体を駆逐するほか体内のがん細胞を破壊する役割を果たします。がん細胞は健康な人でも体内で1日3000個も発生していますが、NK細胞の働きでがん細胞が増殖しないで済みます。B型細胞は病原体を破壊する抗体を作り出します。正に、NK細胞とB型細胞は健康と長寿に直結している免疫細胞であり、その細胞が笑顔により活性化するのです。笑顔はその他にもたくさんの効能がありますが、周りの人たちを幸せにしてくれる効果も高く、笑顔の素敵な人は人気者です。同性、異性に限らずもてることはよいことです。幼児期は1日平均400回も笑うようですが、大人は20回程度しか笑わないとの調査報告があるようです。女性は笑顔が素敵な人が多く、男性は笑顔が少ない渋めの人が多いとの印象があります。今日は久しぶりの旧交を温める機会でもありますし、楽しいアトラクションも用意されています。男性も女性の大きいに笑っていただき、笑顔の効能を実体験していただきたいと思います。何より、笑顔はお手軽・無料・副作用なし・効果抜群です。厚真町も人口減少社会に立ち向かうべく様々な取り組みを行っていますが、皆様方から笑顔を町中に広げていただくことが、まちの活力を高め、次世代の育成と地域創生に繋がると考えています。

開拓期から激動の時代そして高度成長期へと大いなる夢と希望を持って上り坂を駆け登ってきた皆さんであります。これからも私たちを導いていただきたいところではありますが、まずは、肩の重荷を少しずつ降ろしながら、何よりも楽しい毎日を過ごしていただきたいと思います。季節は正に収穫の秋であります。町民の皆様のご努力もあり、まずまずの作柄のようではありますが、改めて本町の豊かな自然と大地の恵みに感謝し、全ての命に感謝しつつ、皆様のさらなるご長寿をご祈念申し上げたいと思います。

結びになりますが、ここにご参会の皆様のご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶と致します。

平成29年9月14日

厚真町長 宮坂尚市朗